

# 定例記者会見

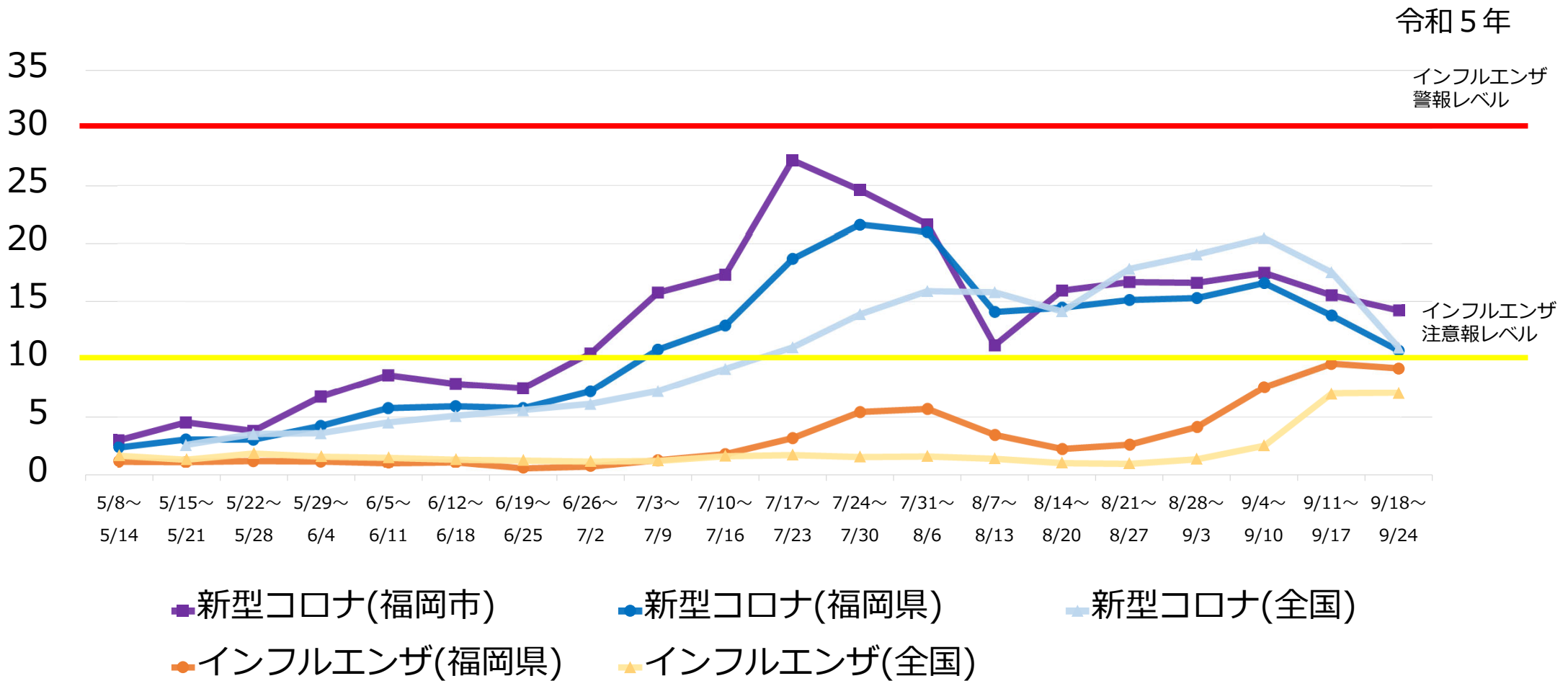
令和5年10月4日(水) 13時30分

総論

福岡市医師会 会長 平田 泰彦



# 1. 新型コロナウイルスおよびインフルエンザ発生状況（定点当たり報告数）



※福岡県ホームページもとに作成

## 2. 今後の感染動向と対策

今後の 感染動向	<ul style="list-style-type: none"><li>・ オミクロン系統の変異株「EG.5」(通称「エリス」)や「BA.2.86」(通称「ピロラ」)の感染拡大</li><li>・ インフルエンザとの更なる同時流行が懸念</li></ul>
今後の 対策	<p><b>新型コロナとインフルエンザワクチンの同時接種</b>や<b>基本的な感染予防行動の徹底</b>により、高齢者等重症化リスクの高い方を守ることが必要</p>

**※ 医療提供体制を守るため、ご理解・ご協力をお願いします。**

### 3. 10月以降の新型コロナウイルス医療支援内容

対象	支援策	令和5年9月まで	令和5年10月以降
患者	治療薬	全額公費支援	一部自己負担 (負担額は9千円を基本とし所得に応じて軽減)
	入院医療費	高額医療費制度適用後に さらに最大2万円補助	補助額を1万円程度に減額
医療 機関	病床確保料	上限額を設けて支給	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象範囲を原則、重症者・中等症Ⅱ患者に</li> <li>感染状況に応じて支給</li> <li>上限額は2割減</li> </ul>
	診療報酬上の 特例措置		大半の項目で引き下げ
	入院調整	原則、医療機関間による 入院先調整	引き続き医療機関間で入院先調整

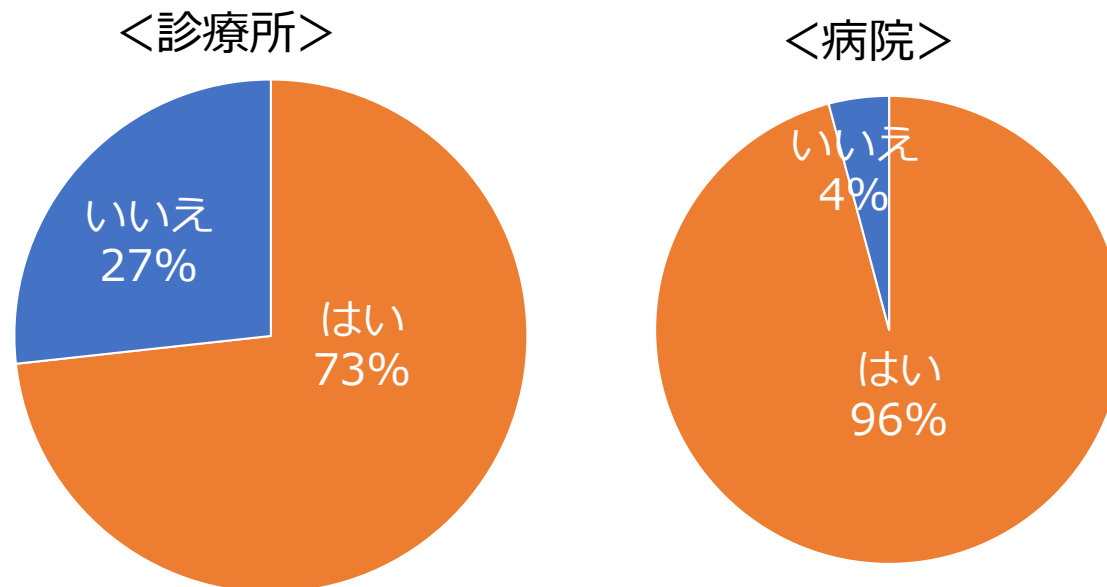
厚労省HPを元に作成

## 4. 薬剤需給状況（1）

### 「薬剤需給状況調査」実施

調査期間：令和5年7月12日～24日  
調査対象：会員医療機関 1,299件  
回答状況：505件（回答率38.9%）

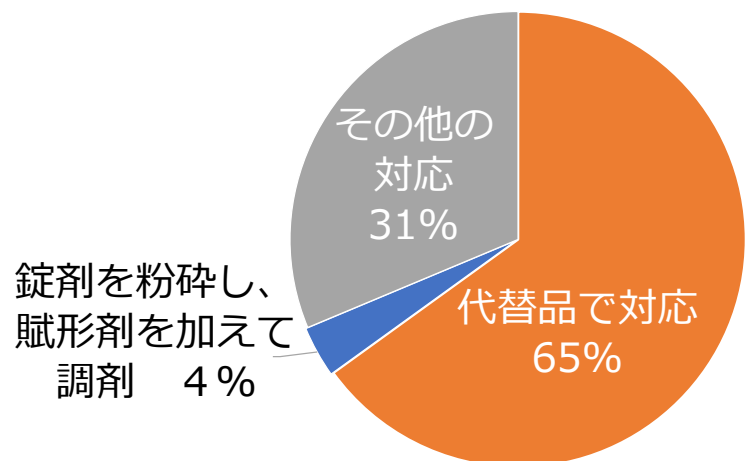
#### ○入手不可あるいは供給不安定により処方が困難な薬剤があるか



福岡市医師会調査

## 5. 薬剤需給状況（2）

### ○薬剤の不足が生じた際の対応について



#### 【その他の対応】（抜粋）

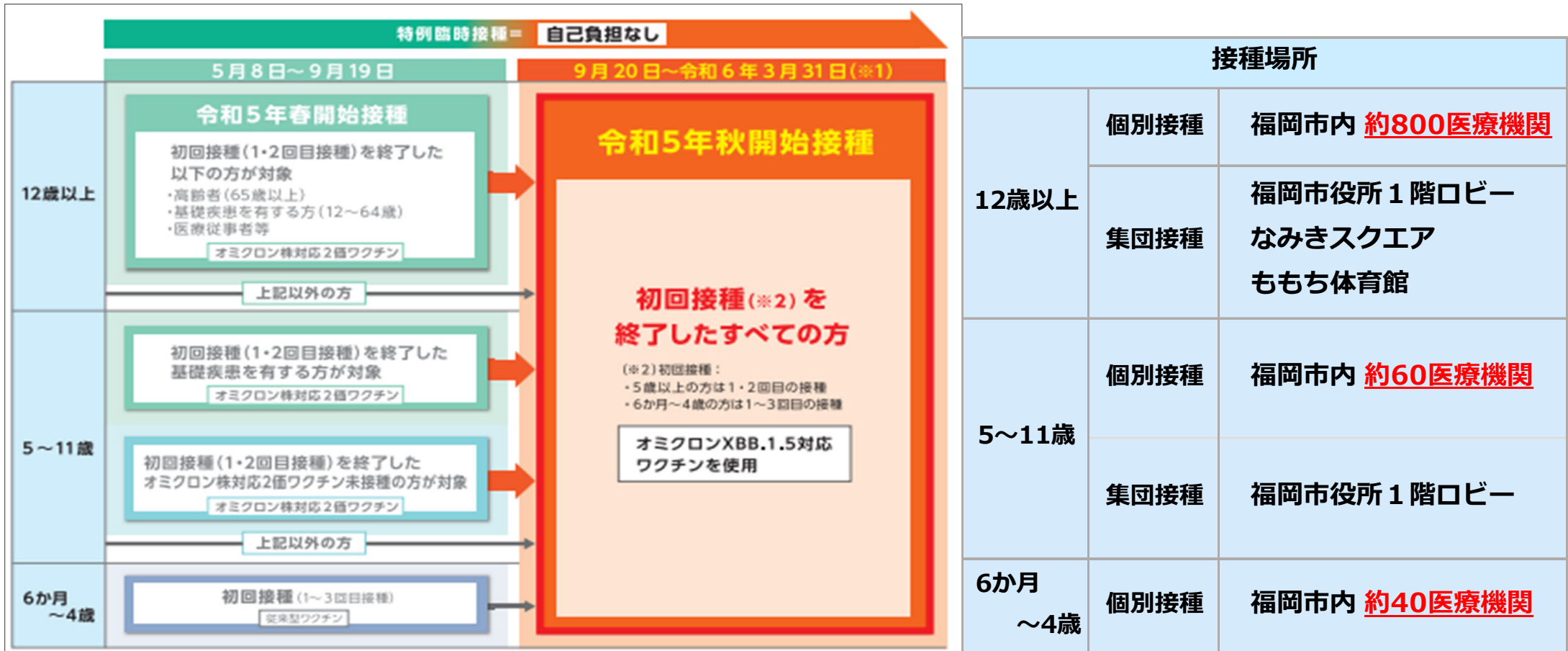
- ・処方できない。
- ・ジェネリックがない場合は先発品、先発品がない場合はジェネリックで了承を得て処方。
- ・都度、入荷できるメーカーを探し対応。
- ・残薬を確認し、処方日数を変更。

### ○卸売会社等による供給不安定の理由

- ・政府の医療費抑制のための後発医薬品推進により、メーカーの新規参入が急増。複数の製薬会社が製造管理や品質管理体制の不備により行政処分を受け出荷制限となり、他社の同効薬に供給量を上回る注文が発生した。
- ・薬価が安く、増産しても収益がないので増産しない。
- ・原薬の多くが海外からの輸入依存で、原薬製造国からの突発的な供給停止に国内で対応できない。

福岡市医師会調査

## 6. 令和5年秋開始ワクチン接種体制



厚労省・福岡市HPを元に作成